

# がんと生きる

～こころとからだ 私らしく～

世界中で開発が進む、がん治療薬。抗がん剤や免疫チェックポイント阻害薬など、様々な種類の薬が効果をあげています。がん治療薬は今や、外科や放射線とともに治療の大きな柱となってきました。

今回は、そうした「薬の今と未来」がテーマです。「現在処方されている薬には、どんな効果や副作用があるのか」「今後、期待される薬は何か」といった、薬に対する様々な疑問について、専門家が解説します。

暮らしに影響を及ぼす副作用への対策も紹介しながら、これからの「がんとの向き合い方」を考えるフォーラムです。



## 2022年 11月12日(土)

開場：正午 開演：午後1時 / 終演予定：午後3時45分 ※途中休憩あり

### 会場 松戸市民会館 ホール

千葉県松戸市松戸1389-1

### 定員 450名 参加無料

※要事前申し込み

※先着順に受け付け、定員に達し次第締め切ります。

申し込み方法など詳細は、裏面またはホームページをご覧ください。右の二次元コードからもお申し込みが可能です。

<https://www.npwo.or.jp/info/26629>

※本フォーラムは新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施して開催いたします。  
※今後の新型コロナウイルス感染拡大状況などにより、開催内容・方法が変更になる場合があります。

#### 【テーマ】薬の未来と今 “最新治験” と “リポジショニング” プログラム

【第1部】治療薬の未来・SCRUM-Japan, 【第2部】リポジショニングとは・患者主導治療など 既存薬の可能性をさぐる



参加申し込み用  
二次元コード



【交通】JR常盤線・新京成電鉄 松戸駅の東口から徒歩約7分  
※公共交通機関をご利用ください。



パネリスト  
**大津 敦**  
国立がん研究センター 東病院長



パネリスト  
**上園 保仁**  
東京慈恵会医科大学 医学部 疼痛制御研究講座 特任教授  
国立がん研究センター 東病院 支持・緩和研究開発支援室 特任研究員



パネリスト  
**長谷川 一男**  
NPO法人肺がん患者の会ワンステップ 理事長  
日本肺がん患者連絡会 理事長



コーディネーター  
**町永 俊雄**  
福祉ジャーナリスト





パネリスト  
おおつ あつし  
**大津 敦**  
国立がん研究センター 東病院長

1983年東北大学 医学部を卒業。2012年国立がん研究センター 先端医療開発センター長を務め、2016年より現職。日本臨床腫瘍学会 国際委員長、米国臨床腫瘍学会 国際委員、日本癌学会 副理事長などを歴任。消化器がんを中心とした医薬品開発に従事し、日本医療研究開発機構 プログラムオフィサーとしてがん医薬品開発を推進。東病院では、世界最先端のがん医療の提供と世界レベルのがん医療の創出をミッションとし、有効な治療をいち早く患者に届けている。



パネリスト  
うえぞの やすひと  
**上園 保仁**  
東京慈恵会医科大学 医学部 疼痛制御研究講座 特任教授  
国立がん研究センター 東病院 支持・緩和研究開発支援室 特任研究員

1985年産業医科大学 医学部卒業後、産業医科大学大学院を修了、医学博士取得。その後、1993年まで約3年間カリフォルニア工科大学に留学。2009年から2020年まで国立がん研究センター 研究所 がん患者病態生理研究分野長を務め、2020年より現職。長崎大学、鹿児島大学、順天堂大学、東京理科大学で客員教授を、日本薬理学会 監事、日本がんサポーターケア学会の評議員、漢方部会 副部会長を務める。



パネリスト  
はせがわ かずお  
**長谷川 一男**  
NPO法人肺がん患者の会ワンステップ 理事長  
日本肺がん患者連絡会 理事長

神奈川県在住、51歳。日本大学 芸術学部卒業。2010年に肺がんを発症し、現在11年目[ステージ4]。肺がん患者の会ワンステップは、「肺がんの患者・家族の「生きる勇氣」を生み出し、肺がんのない世界を目指す」ことをビジョンとして活動。2020年には国内初の患者提案型医師主導治療を実施した。活動には「仲間を作る」「知って考える」「アドボカシー」の3つの柱があり、1ヶ月に1回のペースで「ゆる～いおしゃべり会」を開催。ホームページやブログで情報発信をしている。現在、日本肺癌学会 ガイドライン委員、神奈川県がん教育協議会 委員も務める。



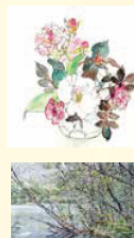
コーディネーター  
まちなが としお  
**町永 俊雄**  
福祉ジャーナリスト

1971年NHK入局。『おはようジャーナル』キャスターとして教育、健康、福祉といった生活に関わる情報番組を担当。2004年から『福祉ネットワーク』キャスターとして、うつ、認知症、自殺対策などの現代の福祉をテーマに伝えてきた。現在は共生社会の在り方をめぐり各地でシンポジウムを開催するなどの活動を続けている。



【作品提供】  
むらかみ みつこ  
**村上 光子さん**

2016年に乳がんの手術を受ける。その後、抗がん剤と放射線治療を受け、現在、ホルモン療法を継続中。2017年に乳がん患者の会「アイビー千葉」に入会。副作用や再発の不安と向き合いながら、長年描いてきた絵や、健康体操、ジム通いを楽しんでいる。



### 参加申し込みについて ▶▶▶ ホームページ申し込みフォーム / はがき (単信) / FAX

**ホームページ** ▶ <https://www.npwo.or.jp/info/26629> 右の二次元コードからも申し込みが可能です。

※フォームからの申し込みはお一人ずつ必要です。(ご同行の方がいらっしゃる場合も、それぞれお申し込みください。)

**はがき・FAX** (1)お名前(ふりがな) (2)郵便番号・住所 (3)電話番号 (4)メールアドレス(ある方のみ) (5)希望人数(最大2名まで) (6)同行者名 (7)同行者の住所が異なる場合は、同行者の郵便番号・住所・電話番号・メールアドレス(ある方のみ)をご記入のうえ、11月7日(月)までに届くように下記までお送りください。

▶ 送り先: NHK厚生文化事業団「がんと生きる」係  
▶ はがき: 〒150-0041 東京都渋谷区神南1-4-1 第七共同ビル  
▶ FAX: 03-3476-5956

※メールアドレスをお持ちの方は必ずご記入をお願いします。新型コロナウイルス感染拡大状況などにより、開催内容・方式が変更になった場合の連絡などに使用します。(メールアドレスをお持ちでない場合は、電話でお伝えします。)  
※同行者の住所が異なる場合は、それぞれの住所へ入場整理券を郵送します。  
※車いすをご利用の場合や、個別の対応が必要な場合など連絡事項がある場合は、その旨もご記入ください。

先着順に受け付け、定員に達し次第締め切ります。

10月31日(月)以降、順次、入場整理券(1枚で1人入場可)を封筒に入れて郵送します。

※個人情報適切に管理し、本フォーラムについての連絡のみに使用いたします。詳しくはNHK厚生文化事業団の「個人情報保護方針」をご覧ください。

#### 【フォーラムご参加にあたって】

- ◎入場整理券はご本人様だけに有効であり、譲渡や転売は固くお断りします。
- ◎会場内での飲食、喫煙、ビデオ・写真などの撮影や録音はご遠慮ください。
- ◎客席の様子が後日、放送・配信される場合があります。
- ◎座席は、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮して配席します。
- ◎新型コロナウイルス感染拡大状況により、会場参加いただける方の地域を一部制限する場合があります。
- ◎今後の新型コロナウイルス感染拡大状況などにより、開催内容・方式が変更になる場合があります。変更になった場合は、ホームページでお知らせするほか、メールもしくは電話でもお伝えします。
- ◎新型コロナウイルス感染拡大防止のため、保健所など公的機関へお客様の情報を提供する場合があります。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

#### 【問い合わせ】NHK厚生文化事業団「がんフォーラム」係

電話 03-5728-6633(平日 午前10時-午後5時) メール event5@npwo.or.jp ※件名に「がんフォーラム」と入れてお問い合わせください。

**FAX申し込み欄** 切り取らずにこのまま送信ください。 **FAX番号** 03-3476-5956 おかけ間違いのないようご注意ください。

ご本人様	住所	〒	
	名前	(ふりがな)	
	参加人数	人	
	電話番号	-	-
メールアドレス	@		
同行者様	住所	〒	
	名前	(ふりがな)	
	電話番号	-	-
	メールアドレス	@	

よろしければ右記についてお答えください。(任意) 「抗がん剤治療(化学療法)にどんな印象をもっていますか?治療中の悩みや工夫についてもお聞かせください。」(フォーラム内で一部をご紹介します場合があります。その際、事前に断りなくお名前をご紹介しますことはありません。)

ご連絡事項(車いすをご利用の場合や、個別の対応が必要な場合、そのほか連絡事項がある場合はこちらへご記入ください。)